

平成 29 年度「建築設備技術遺産」に TOTO ミュージアム所蔵の「光電センサー内蔵自動水栓」が認定

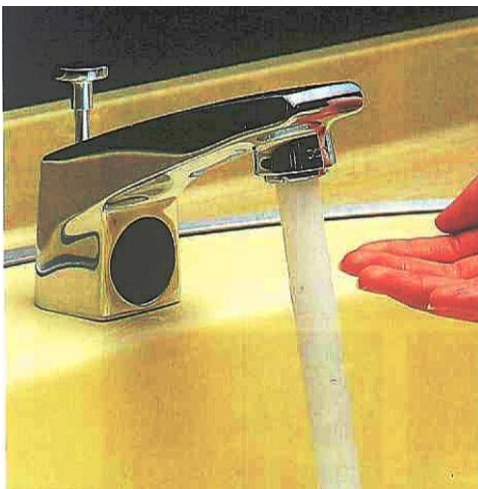
～2012 年、2014 年、2016 年に続き 4 回目～

TOTO 株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)が運営する TOTO ミュージアム所蔵の「光電センサー内蔵自動水栓」が、一般社団法人建築設備技術者協会(JABMEE、会長:野部達夫)より、平成 29 年度「建築設備技術遺産」に認定されました。

今回認定された TOTO ミュージアム所蔵の「光電センサー内蔵自動水栓」は、パブリックトイレの洗面所に求められる要件である節水・衛生性(非接触)を実現し、パブリックトイレでの普及のきっかけとなった光電センサー内蔵型の自動水栓です。このたびの建築設備技術遺産としての認定は、その後の光電センサーや駆動部の技術進歩の原点となり、今やパブリックトイレ洗面所への設置だけでなく、家庭用水栓への流用など大きく影響をおよぼした水栓金具であることから、建築設備として価値ある製品と認められたことによるものです。今回の受賞は 2012 年、2014 年、2016 年に続き 4 回目となります。

TOTO ミュージアムは、2015 年 8 月 28 日に開館して以来、数多くのお客様に来館いただき、**開館 1 年 8 ヶ月で来館者総数 15 万人を突破**しました。同館が所蔵する「光電センサー内蔵自動水栓」は、第 2 展示室パブリック展示コーナーに常設展示しています。

光電センサー内蔵自動水栓について



[写真] 光電センサー内蔵自動水栓

建設設備技術遺産 認定第 30 号

TOTO ミュージアム所蔵の「光電センサー内蔵自動水栓」

品番: TEL2B

発売期間: 1984 年～1990 年

■開発の経緯

1960 年代から、各地で渇水になるケースが頻発し、市場では節水器具が求められるようになった。また、ウォシュレットをはじめとしたエレクトロニクスの進化と共に、小型の光電センサーが開発され、非接触による衛生性と節水が求められるパブリックトイレでは小便器や大便器の自動洗浄の普及とともに洗面・手洗用水栓としても、自動化を普及すべく、水栓本体に光電センサーを組み込んだ自動水栓が開発された。

■製品特長

- ・光電センサーが感知すると自動的に吐水、感知なくなると止水し、小まめな水の出し止めが可能となるので節水が図れる。また水栓の閉め忘れによる水の出しっ放しの無駄がなくなる。
- ・今まで当たり前で操作していた水栓のハンドルに触れずに吐水できるので操作が簡単で、しかも衛生的。水栓金具周辺が水で濡れることが少なくなり、清掃が楽になる。
- ・光電センサーが 0.1 秒以上感知しないと吐水しない(誤感知対策)ことや、感知したままでも約 1 分後に自動止水する機能などを光電センサーのソフトに組み込んだ安心設計である。

自動水栓は現在ではパブリック空間だけでなく一般の住宅にも普及してきました。その初期の商品の現物が TOTO ミュージアムに保存されていたことが、今回の認定につながりました。

建築設備技術遺産について

一般社団法人 建築設備技術者協会 (<http://www.jabmee.or.jp/>) が 2012(平成 24)年度より、建築設備分野に係わる「技術」と「技術者の歴史的な足跡を示す具体的な事物・資料」を「建築設備技術遺産」として認定する制度で、建築設備技術者が関わってきた、建築設備分野の技術および設備関連情報とそれを建物に収めてきた技術を次世代に伝える必要のある大切な遺産として認定するものです。

「建築設備技術遺産」とは、建築設備のうち、空調・衛生・電気・搬送の 4 領域に関する技術と、技術者の歴史的な足跡を示す具体的な事物・資料であって、

- ・建築設備技術の進歩・発展において重要な成果を示したもの
- ・生活、経済、社会、地球環境、技術教育に貢献した、または当時を反映する技術遺産である建築設備技術のいずれかに合致するものです。

TOTO ミュージアムについて

TOTO ミュージアムは、2017 年に迎える創立 100 周年記念事業として開設した、水まわりの文化や歴史をご覧いただけるミュージアムです。2015 年 8 月 28 日の開設以来、数多くのお客様に来館いただき、開館 1 年 8 ヶ月で来館者総数が 15 万人を突破しました。



TOTO ミュージアム

開館時間……10:00～17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日……月曜・年末年始・夏期休暇
入館料……無料 ※団体要予約(20 名以上)
お問合せ先……TEL:093-951-2534
所在地……福岡県北九州市小倉北区中島 2-1-1
ウェブサイト……<http://www.toto.co.jp/museum>

これまでの「建築設備技術遺産」認定品の展示状況



認定第 4 号「衛生器具等」のうちのウォシュレット G(初代ウォシュレット)



認定第 14 号「各種湯水混合水栓」のうちの露出形ミキシングバルブ



認定第 25 号「初代ユニットバスルーム」